

2026年 シラバス

履修規定	必修課目	授業課目	衛生管理（公衆衛生・環境衛生・感染症）
履修学年	2年	コース	理容科・美容科
担当教員	黒木正善	経歴	薬剤師
担当教員		経歴	
授業時間数	20	事業方法及び場所	教室 校内

1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・ 国民が健康で快適な生活を送る上で関与している環境要因について学習する。
- ・ 感染症についての明確な知識、予防対策などが理容・美容業と密接な関連があることを十分に理解させる。
- ・ 公衆衛生の向上に係る理容師、美容師の役割についてしっかり理解させ学習する。
- ・ 国家試験に頻出の内容について詳しく取り上げることで合格率向上を目指す。

2. 学習内容

- ・ 環境衛生の意義と目的について、理容師、美容師の業務に関連づけて理解させる。
- ・ 理容業・美容業に携わるものとして、近代の公衆衛生を理解し、人の健康や感染症を予防することに繋げる。また、感染症についての明確な知識や技能を会得する。

3. 学習方法

- ・ 各単元（編）において、復習のための「総合学習」を含ませる。
- ・ 各論において、代表的な感染症について、病原体、感染源、感染経路、症状、予防対策について学習する。
- ・ 講義形式を基本とし、国家試験に向けた演習授業も適宜取り入れる。

4. 学習評価

- ・ 授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、学期末テスト（70点以上であること）により評価する。
- ・ 学習態度、提出物、小テストで評価する。

教科書	衛生管理 （日本理容美容教育センター発行）	参考文献 副教材等	DVD・ワークブック （日本理容美容教育センター発行） オリジナルプリント
-----	--------------------------	--------------	---

学習計画

月	学習項目	学習内容・方法
4月	総合学習	公衆衛生学・環境衛生学まとめ ワークブック活用
5月 6月	病原微生物	感染症の原因となる病原微生物について、その種類、構造、成分などを学習する。 生活の状態、増殖の仕方、環境の影響について理解させる。
7月	病原微生物 感染症の予防	微生物の病原性と人体の感受性の相互関係と、汚染、感染、発病の経過を学習する。 免疫のしくみと予防接種の効果や地域社会における感染症の発生の要素と対策について理解させる。 ワークブック活用 学期末テスト
9月 10月	感染症の各論 理容・美容と感染症 主な感染症	理容・美容の業務に従事するため、感染症の感染経路や予防方法を認識させる。
11月	主な感染症	標準予防対策をしっかりと理解させる。 オリジナルプリントの活用
12月	具体的な対策例 国家試験対策	理・美容所における客への対応や予防対策を学習する。 学期末テスト 過去問題集を用いてポイントを理解させる。 ワークブック活用
1月 2月	総合学習 (公衆衛生・環境衛生) (感染症)	公衆衛生・環境衛生・感染症における理解の確認。 過去問題集を用いてポイントを理解させる。 1年次、2年次のまとめ 学期末テスト